



# 第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

2013年8月29日(木)～9月1日(日) トラック競技:青森県八戸自転車競技場(周長333.3m)

ロード競技:階上町公道周回特設コース

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 / 協力:青森県自転車競技連盟

協賛:(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会

株式会社パールイズミ プリヂェストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社

Communiqué-6



2013年8月27日

大会審判長 大島 環

1. <競技者の装備> 空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、あるいは競技者の身体を強制するため(圧迫、引張、支持)の、付加的な衣類または物は禁じる。(2013JCF 規則第8条6項)
2. (トラック・レーサーおよびロード・レーサー) 各参加者は、ロード、トラック競技において使用する器材が規則を満たしていることを予め確認しなくてはならない。サドル位置またはハンドルバー・エクステンションの前進位置のいずれかの適用免除を、トラック監督会議時(8月29日・11時)に申請(様式・別添1)すること。なお、申請をする事が、承認を意味する事ではない。  
ロード競技のみに参加するチームについては、ロード監督会議時(8月31日競技終了後)に申請する事が出来る。
3. 各参加チームは、本大会に参加する誓約書(様式・別添2)をトラック監督会議時に持参、提出する事。なお、ロード競技のみに参加するチームについては、ロード監督会議時の提出を認める。

## トラック種目

4. タイムトライアル専用ヘルメットの使用は、スプリント予選・500mタイムトライアル・1kmタイムトライアル・チームスプリント・チームパーシュートに限り認めるが、練習中の使用は認めない。
5. トラック上にいる間は、競技者は常に自転車をしっかりとコントロール下におき、ハンドル(あるいは延長部)上に少なくとも片手を置いていなければならない。これに違反した競技者には警告を与える。(2013JCF 規則第63条)
6. パーシュートまたはタイムトライアル種目
  - スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コーチとして1名だけがそこに留まることができるが、軽率な応援身振りなどは一切認められない。(2013JCF 規則第59条)
7. タンデム・スプリント
  - 予選は、5周を周回する内の最後の1周(333.3m)を計時する。また、対戦に入ってから5周回で行う。
  - 5-8位決定予選、7-8位決定戦、5-6位決定戦は、1回戦制で行う。
8. ケイリン
  - 1/2決勝から各組上位3名が決勝へ、下位3名は7～12位決定戦に進出できる。
9. 表彰式
  - チームユニフォーム着用の事。サングラス・帽子の着用、サンダル履きは禁止する。
10. ハンドルバー、並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着すること。またハンドルバーにはバーテープを巻くこと。

## ロード種目

11. 当日の天候によって、補給が認められる周回を変更する場合は有る。

以上



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>